



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 ダイコク電機株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 6430 URL <http://www.daikoku.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 根本 弘  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長 (氏名) 栢森 啓 (TEL) 052-581-7111  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	27,984	△16.2	1,448	△17.3	1,605	△15.0	958	△21.2
29年3月期第3四半期	33,396	△14.2	1,751	13.2	1,889	14.1	1,216	92.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,001百万円(△21.4%) 29年3月期第3四半期 1,273百万円(97.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	64.83	—
29年3月期第3四半期	82.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	44,079	29,414	66.7
29年3月期	46,828	29,151	62.3

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 29,414百万円 29年3月期 29,151百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	40.00	50.00
30年3月期	—	10.00	—		
30年3月期(予想)				30.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	△4.2	1,300	24.0	1,300	△5.4	800	59.1	54.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	14,783,900株	29年3月期	14,783,900株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	722株	29年3月期	722株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	14,783,178株	29年3月期3Q	14,783,230株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関しては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、中国をはじめとするアジア新興国等の経済の先行き、欧州の政治情勢や米国の政策に関する不確実性による影響が懸念されたものの、雇用・所得環境や企業収益の改善等を背景に、緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、平成30年2月1日を施行期日とした「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の一部を改正する規則」が施行されることに伴うホール業績への影響の不透明感から、慎重な姿勢が継続しております。

このような市場環境のもと、情報システム事業におきましては、主力製品の情報公開端末「BiGMO PREMIUM」の機能を継承し外観を大きくモデルチェンジした新製品「BiGMO PREMIUMII」、及び呼出ランプ「IL-X2」の後継機として、シャープなイルミネーションが際立つ「IL-X3」の販売を開始し、多くの注目を集めました。

また、引き続き業界初のファン動向データ公開サービス「Fan-SIS」の提案と、当サービスの導入に必要なCRユニット「VEGASIAIII」の拡販に努めました。

制御システム事業におきましては、規則改正の施行を控え、射幸性を抑えた中での新たな遊技性の創出に取り組むとともに、短期間での市場投入が可能な遊技機の企画提案を推進しました。

また、先行き不透明な市場環境の変化に対応すべく、コスト削減を目的とした開発工程の見直しや、新たな商材・コンテンツの提案活動に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高279億84百万円（前年同期比16.2%減）、営業利益14億48百万円（同17.3%減）、経常利益16億5百万円（同15.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益9億58百万円（同21.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (情報システム事業)

当事業の第3四半期連結累計期間は、情報公開端末の入れ替え提案や、新製品「BiGMO PREMIUMII」及び「IL-X3」の販売開始の効果もあり、各種の情報公開端末の販売は堅調に推移しましたが、前年同期に比べて新規出店が減少したことなどにより、大規模工事を必要とするCRユニットVEGASIAシリーズ、及び景品顧客システムの販売台数が前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は203億71百万円（前年同期比9.5%減）、セグメント利益は23億72百万円（同25.9%減）となりました。

#### (制御システム事業)

当事業の第3四半期連結累計期間は、遊技機市場全体の新台幣売台数が低調に推移するなか、規則改正の影響による遊技機メーカーの販売戦略の変更に伴う販売時期の延期等により、表示ユニット及び制御ユニットの販売台数が前年同期に比べ大幅に減少しました。

また、当事業の販売戦略の見直しに伴い、研究開発費等、販売費及び一般管理費が前年同期に比べ減少しました。

この結果、当事業の売上高は76億53百万円（前年同期比29.9%減）、セグメント利益は3億43百万円（前期セグメント損失1億14百万円）となりました。

(注) セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、平成29年12月の売上が大きかったことにより売掛金は増加しましたが、パチスロ遊技機の販売によるたな卸資産の減少や現金及び預金、前払金及び未収入金などの減少により前連結会計年度末に比べ19億26百万円減少の279億62百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の固定資産は、取引先の破産手続きが終了したことによる破産債権の減少及び貸倒引当金の戻し入れがありましたが、減価償却費の計上に伴う固定資産の減少により、前連結会計年度末に比べ8億21百万円減少の161億17百万円となりました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ27億48百万円減少の440億79百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度に比べ研究開発費の計上や固定資産の取得が少なかったことによる未払金の減少、及び仕入債務が減少したことにより前連結会計年度末に比べ28億80百万円減少の136億22百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の固定負債は、役員退職慰労引当金の減少により前連結会計年度末に比べ1億30百万円減少の10億43百万円となりました。

その結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ30億10百万円減少の146億65百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、配当金の支払額以上に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上額が大きかったことにより利益剰余金が増加した結果、前連結会計年度末に比べ2億62百万円増加の294億14百万円となりました。

以上により自己資本比率は66.7%（前連結会計年度末比4.4ポイント上昇）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期連結業績予想におきましては、平成29年5月15日に公表しました予想値から変更はありません。引き続き厳しい市場環境が予想されておりますが、提案力強化及び経費等の削減に努め、通期連結業績予想達成に向けて取り組んでまいります。

今後修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,062,019	12,401,559
受取手形及び売掛金	5,394,036	8,292,699
電子記録債権	1,946,292	1,390,420
商品及び製品	5,716,598	3,963,577
仕掛品	4,822	6,183
原材料及び貯蔵品	919,153	876,650
繰延税金資産	553,713	275,638
その他	1,353,354	775,810
貸倒引当金	△61,067	△20,185
流動資産合計	29,888,922	27,962,353
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,384,444	4,182,662
土地	4,162,117	4,162,117
その他(純額)	1,480,804	1,332,113
有形固定資産合計	10,027,365	9,676,892
無形固定資産		
ソフトウェア	3,088,285	2,834,629
その他	35,041	33,889
無形固定資産合計	3,123,327	2,868,519
投資その他の資産		
繰延税金資産	1,191,882	920,133
投資不動産(純額)	952,646	937,956
その他	2,302,257	2,106,103
貸倒引当金	△658,080	△392,161
投資その他の資産合計	3,788,705	3,572,032
固定資産合計	16,939,398	16,117,444
資産合計	46,828,320	44,079,798

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,294,246	2,094,192
電子記録債務	6,373,496	5,045,118
短期借入金	3,300,000	3,300,000
未払法人税等	200,258	12,692
役員賞与引当金	29,600	84,900
製品保証引当金	—	7,320
株主優待引当金	31,712	58,361
その他	4,273,462	3,019,620
流動負債合計	16,502,776	13,622,205
固定負債		
役員退職慰労引当金	458,155	321,506
退職給付に係る負債	510,321	482,348
その他	205,179	239,736
固定負債合計	1,173,656	1,043,591
負債合計	17,676,433	14,665,796
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	27,971,027	28,190,259
自己株式	△1,392	△1,392
株主資本合計	29,323,643	29,542,875
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,694	66,939
繰延ヘッジ損益	—	△118
退職給付に係る調整累計額	△227,450	△195,694
その他の包括利益累計額合計	△171,755	△128,873
純資産合計	29,151,887	29,414,001
負債純資産合計	46,828,320	44,079,798

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	33,396,317	27,984,854
売上原価	21,806,459	18,419,712
売上総利益	11,589,858	9,565,141
販売費及び一般管理費	9,838,722	8,116,778
営業利益	1,751,135	1,448,363
営業外収益		
受取利息	3,926	15
受取配当金	8,953	8,968
不動産賃貸料	62,177	63,424
受取分配金	25,207	78,070
その他	93,640	48,043
営業外収益合計	193,904	198,522
営業外費用		
支払利息	11,574	7,497
不動産賃貸費用	43,539	33,490
その他	540	378
営業外費用合計	55,653	41,366
経常利益	1,889,386	1,605,518
特別利益		
固定資産売却益	59,000	1,830
会員権売却益	—	824
その他	—	106
特別利益合計	59,000	2,760
特別損失		
固定資産売却損	27,000	—
固定資産除却損	19,116	9,926
減損損失	—	74,858
投資有価証券評価損	44,902	—
その他	—	5,153
特別損失合計	91,019	89,939
税金等調整前四半期純利益	1,857,366	1,518,340
法人税、住民税及び事業税	295,096	28,942
法人税等調整額	346,183	531,006
法人税等合計	641,279	559,949
四半期純利益	1,216,087	958,390
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,216,087	958,390

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,216,087	958,390
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,490	11,244
繰延ヘッジ損益	487	△118
退職給付に係る調整額	31,361	31,755
その他の包括利益合計	57,339	42,882
四半期包括利益	1,273,427	1,001,273
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,273,427	1,001,273

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,520,338	10,875,979	33,396,317	—	33,396,317
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	47,545	47,545	△47,545	—
計	22,520,338	10,923,524	33,443,862	△47,545	33,396,317
セグメント利益 又は損失(△)	3,202,742	△114,342	3,088,399	△1,337,264	1,751,135

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,337,264千円には、セグメント間取引消去△3,555千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,333,708千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,371,493	7,613,360	27,984,854	—	27,984,854
セグメント間の 内部売上高又は振替高	58	40,370	40,428	△40,428	—
計	20,371,552	7,653,730	28,025,283	△40,428	27,984,854
セグメント利益	2,372,066	343,108	2,715,175	△1,266,812	1,448,363

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,266,812千円には、セグメント間取引消去△4,102千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,262,710円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「制御システム事業」セグメントにおいて、今後利用計画のない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として、特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、74,858千円であります。